

2027

総合文化学部

社会文化学
科

沖縄・アジアの
未来を拓く

Department of Society and Regional Culture

沖縄国際大学
Okinawa International University

沖縄を学び、アジアや世界へ！

「みなさん、沖縄が好きですか？」

では、みなさんは、沖縄のことをどれだけわかっているのでしょうか？

琉球王国時代の沖縄のひとびとはどのような生活をおくり、周辺の国々とどのような関係を結んでいたのでしょうか？

現在にも継承される伝統文化は、どのような歴史や社会的背景のもとに築かれたのでしょうか？

戦前の沖縄のひとびとの暮らしや戦後の米軍統治は、現代の沖縄の社会や文化にどんな影響を与えているのでしょうか？

沖縄の歴史や伝統文化は県外や海外ではどのように受け止められているのでしょうか？

歴史・文化・社会を見つめなおすことは、
沖縄の未来を展望することにつながります。

社会文化学科では、

- ・考古学
- ・歴史学
- ・民俗学
- ・人類学
- ・社会学
- ・平和学 など

さまざまな視角を用意して、
みなさんとともに沖縄を深く理解する手助けをします。

ぜひ、社会文化学科で学んで、
将来の沖縄・日本を、アジアや世界に発信／発進することのできる
人材を目指していただきたいと思います！



社会文化学科長 崎濱佳代

Check!



学科紹介のオリジナルHP
をチェックしよう

Check!



学科紹介を
動画視聴しよう

2026年度から
新カリキュラムがスタート

社会文化学科では、2026年度から、専門ゼミごとに学生の選択の幅を確保し、学術の状況の変化およびカリキュラム・ポリシーに照らして安定的な教育運営を図るためカリキュラムを改正しました。

また、演習科目を半期科目化し、国内留学・海外留学などの自由度を高めています。

注目の**新設**および名称変更された科目！

- 野外調査法 ●世界遺産学 ●南島の自然環境と民俗 ●メディア論 ●琉球沖縄史Ⅰ・Ⅱ

学科の魅力と特徴

“沖縄”を学際的に学び・考え・行動する学科です。

沖縄をとりまくアジア・世界の文化や社会、歴史と今を知り、比較文化という観点を踏まえながら“沖縄”を学んでいきます。

学生自らフィールド（現場）に出て、沖縄を生きる・生きた“人間”とつながることで、“沖縄”の歴史・文化・社会を理解し、未来を切り拓く人材を育成します。

こんな人材に成長します

- ・比較文化的観点への理解
- ・フィールドワーク能力
- ・沖縄および周辺地域の研究能力
- ・地域理解能力
- ・社会的コミュニケーション能力
- ・問題解決へ取り組む能力

社会文化学科を選んだ先輩の声

- ・沖縄のことを詳しく学べる！
- ・本当に沖縄について学べるところは、沖縄国際大学の社会文化学科以外にはないんじゃないかなと思います！
- ・今まで自分ずっと沖縄に住んでいたのに、知らなかったこととかが沢山あって、そういうことを勉強できるのが楽しいなと思います！
- ・様々な視点から客観的に沖縄をみるのが魅力！
- ・専門性が高く難しい授業が多いけど、先生が丁寧に教えてくれます！

アドミッションポリシー 求める入学者像

社会文化学科は、「沖縄」と「人間」について学ぶ意欲と関心を持ち、自らの個性と人間力の向上に努める人材を求めます。

- ① 沖縄を理解するための知的好奇心と知的探求心をもつ人物。
- ② 沖縄をとりまく世界の社会や文化の動きに深い興味と関心をもつ人物。
- ③ 沖縄をとりまく世界の問題と向き合うための基礎学力を有する人物。
- ④ 自らの問題意識のもと、フィールド（現場）に出て積極的に情報を集め考え判断し、主体的に行動することができる人物。
- ⑤ 国際交流・地域・ボランティア・文化・スポーツなど学内外の活動に主体性と協調性をもって取り組める人物。

あなたが学ぶべき分野は

- 琉球王国に興味がある
- 琉球・沖縄史全般を学びたい
- 沖縄の近現代史に興味がある
- 歴史から現代を考えたい
- 歴史学の考え方を学びたい



- 基地問題に関心がある
- 平和・戦争問題を考えたい
- 女性・家族・民族問題を学ぶ
- 教育・労働・メディアを考える
- より良い社会・世界を構想する

- 沖縄の民俗文化に興味がある
- 沖縄の文化をアピールしたい
- アジアとの関係に興味がある
- アジアと沖縄を比較したい
- 世界の中の沖縄を考えたい

- 考古学にロマンを感じる
- 先史時代に関心がある
- 遺跡、発掘作業に興味がある
- 遺物の保存方法を知りたい
- 資料館・博物館が好き

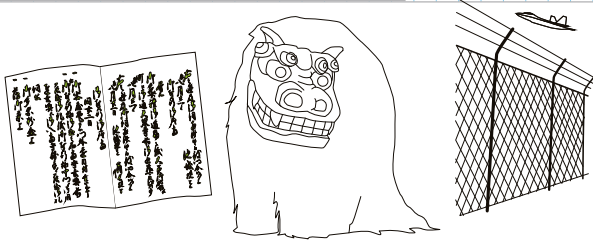
社会文化学科での学び

ゼミ教育による学び

学問の基礎を広く浅く学ぶことから始め、段階を追って自分で選んだ専門領域を深く狭く学んでいくカリキュラム構成をとっています。これらの経験の積み重ねから、卒業論文の執筆という大きなゴールへとつなげていきます。

3年生に進級すると、それぞれのゼミで実習を行います。沖縄県内外の地域社会や公文書館などに赴き、現場からの学びに挑戦します。

1年前期で学ぶ3つの入門



社会文化学科に入学すると、1年次前期に「琉球・沖縄史入門」「沖縄文化入門」「沖縄社会入門」の3つの入門からスタートします。

フレッシュマンセミナー



約20人ずつの小クラスに分かれて、読み、書き、調査、発表など大学生に必要な技術を養成します。ゼミ担当の先生が分かりやすくアドバイスします。

4つの領域



考古・先史学、歴史学、民俗・人類学、社会・平和学の4つの専門領域に分かれ、専門分野における学問体系の基本、調査・研究能力の基礎を習得します。

7つの専門ゼミ



3年次以降は7つの専門ゼミから、各自の興味関心にもとづいて1つのゼミを選び、より専門的な研究活動を行っていきます。

充実した学科独自の支援

キャリア教育・就職支援

沖縄を学際的に学び・考え・行動する学科です。沖縄をとりまくアジア・世界の文化や社会、歴史と今を知り、比較文化という寒天を踏まえながら沖縄を学んでいきます。

学生自らフィールド（現場）に出て、沖縄を生きる・生きた人間と繋がることで、沖縄の歴史・文化・社会を理解し、未来を切り拓く人材を育成します。

接続教育プログラム

学科での学びや学生生活を不安なく始められるように、社会文化学科は多様な丁寧な支援を実施します。1年生が学科での学びに早く慣れ、同学年生、上級生、教員などとの人間的な関係を早めに構築できるようにする学科オリジナルのプログラムを開催しています。



フィールドワーク

社会文化学科では3年次になると、各専門ゼミでは、毎年、テーマを決めてフィールドワーク（現地調査）を行い、それぞれの専門分野に基づいて沖縄への理解を深めます。フィールド（現場）を重視する社会文化学科の最も重要な学びのプロセスです。



SmiLife

スマイライフは社会文化学科の学生で構成されるサークルです。講義で学んだことを活かして、修学旅行生などを対象に、沖縄についてのガイド、平和ガイドを行っています。



MT

初年次教育として、東村の本学セミナーハウスでの1泊2日のMT（Membership Training）を実施してきました。MTは、入学したての1年生を対象とした宿泊研修です。1年生同士が交流を深めることで、充実した学生生活の第一歩を踏み出します。

Check!



スマイライフのX（旧 Twitter）
をチェックしてみよう

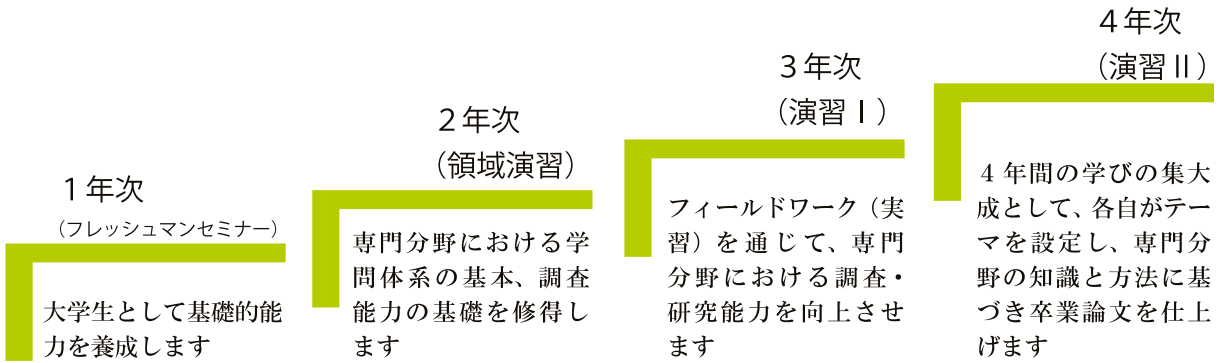


社会文化学学科の教員

学科教員と学び

演習(ゼミ)とは、少人数による実習やディスカッションによる授業の形式です。

いわゆる人文科学分野を細分せずに、広く連携する形でカリキュラムを編成し、南島、琉球、沖縄、オキナワ、OKINAWA を深くそして俯瞰的に学びます。受講生の関心にあわせて、2年次では4つの領域、更に3年次以降は7つの専門分野に分かれます。7つの専門分野、考古・先史学、歴史学(前近代)、歴史学(近現代)、民俗学、文化人類学、社会学、平和学という専門ゼミでより深く学ぶことができます。

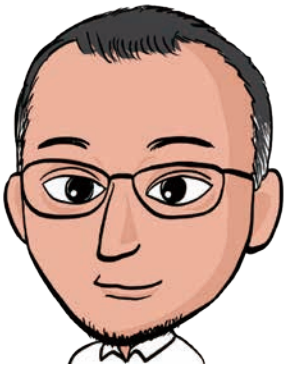


考古・先史学



実際に発掘調査を通して琉球列島の過去について学びます。
物的証拠からその背景にある出来事について深く考察する力を育成していきます。

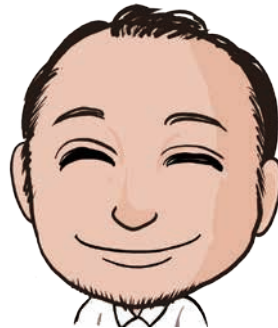
教員紹介



新里 貴之 SHINZATO Takayuki

- 考古学
- 考古学概論、ゼミ、考古学特講Ⅰ・Ⅱ

南九州から南島の考古学が専門です。主に、文字のない時代の土器、墓、交易、社会組織などを研究しています。沖縄を含む南島は小さな島々ですが、日本のなかでも一種独特な興味深い歴史を歩んできた地域です。



宮城 弘樹 MIYAGI Hiroki

- 考古学・博物館学
- F S、南島考古学、領域演習

考古学や博物館の授業を主に担当しています。考古学は、モノから歴史を考える学問です。発掘作業はワクワクドキドキの連続です。講義では、出土品に触れる機会をたくさんつくって、歴史を五感で学びます。

※「F S」はフレッシュマンセミナー、「ゼミ」は領域演習、演習Ⅰ・演習Ⅱを略して標記

考古・先史学ゼミ



考古・先史学ゼミでは、資料整理作業、報告書作成、論文作成、研究成果の発表方法を学びます。学年ごとに段階的に専門性を身につけ、最終的に専門家になれるよう育成しています。発掘実習はこのゼミの目玉であり、物証から過去の出来事について考える方法を学びます。

Pick up!

宮城先生が執筆されたご著書で、沖縄の考古学研究が分かりやすく解説されています。



『琉球の考古学』2022年 啓文舎

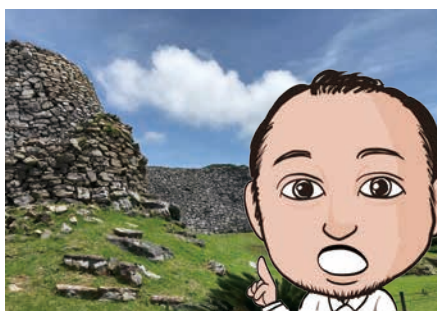
Pick up!



Check!

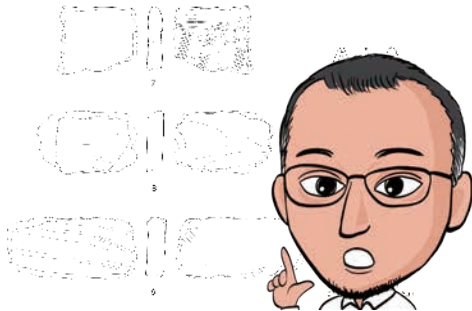
新里先生が受けた取材を動画（OTV ニュース）でチェック！！

こんな授業があります



●南島考古学Ⅰ

授業では、グスク時代の遺跡について学びます。グスクから発見される遺物や遺構についてどのようなものがあるかについて理解し、各地で行われる調査について概略を紹介し、自ら発掘調査報告書を読み込んだ上で歴史に迫る方法を培います。



●考古学特講Ⅱ

考古学の技術的方法の習得を目指す授業です。考古学がどのような方法で調査し、研究するのか、また考古学の技術習得を目指します。授業はパソコン教室で行われます。考古学における専門的な図や表現法を学びます。



●アジア考古学

アジア諸国（日本、中国、韓国、東南アジア）の考古学専門家によって構成された複数教員による講義です。琉球列島と周辺諸国にはどのような文化的・歴史的つながりがあるのか、最新の研究成果を紹介しします。

社会文化学科を選んだ先輩の声



考古・先史学領域では、専門領域に入ってきた2年生の歓迎会として、遺跡巡検を毎年5月に行っています。難しい学問に思われるかもしれませんが、先輩と後輩との縦の繋がりが強く、また夏休みには合宿をして実習を行いますので、横の繋がりが深まります。

卒業後の進路やメッセージ



私は、沖縄の考古学について学びたい！という理由と、将来沖縄の文化行政に携わりたいという理由から社会文化学科へ進学しました。学科では、様々な学問領域から沖縄について多角的に学ぶことができます。現在、私は学科で学んだことを活かして、沖縄県の職員として遺跡調査に携わっています。

屋比久大翔 2021年度卒業 八重山高校出身
(沖縄県立埋蔵文化財センター)



歴史学

歴史学は「おぼえる」「暗記する」学びではありません。
根拠となる歴史資料に基づいて「考える」ことが学びの基本です。
大学で「考える歴史」を一緒に学びましょう。

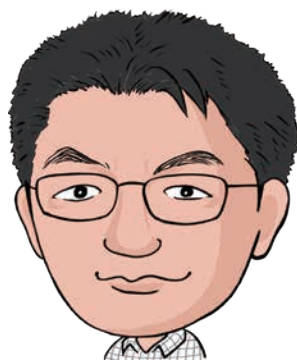
教員紹介



藤波 潔 FUJINAMI Kiyoshi

- 歴史学、歴史教育、歴史史料論
- 歴史学概論、ゼミ、外国史Ⅰ・Ⅱ

専門は、19世紀のイギリスがアジアの諸国家や諸地域とどのような関係を、なぜ構築したのかを研究しています。学科では明治以降の沖縄の歴史を対象とするゼミを担当しています。また、教職課程の担当もしており、主に中学校社会科教員の養成を担当する教職ゼミや外国史の授業を担当しています。



市川 智生 ICHIKAWA Tomoo

- 歴史学・日本近代史・医療社会史
- F S、人間文化課題研究、日本史、日本史概論、日本の歴史、琉球沖縄史入門、など

みなさんのご先祖はどんな状態を健康だと考え、どんな病気にかかり、何歳で亡くなったのでしょうか。わたしは、文字で残された情報や聞き取りを材料に、健康、医療、病気を通して日本の歴史を研究しています。講義では、実際の史料を読んで学びます。

Pick up!

東アジア社会の健康の歴史を国際比較した書籍です。市川先生が家畜としてのウシの健康問題について論じています。



『暮らしの中の健康と疾病: 東アジア医療社会史』
2022年 東京大学出版会

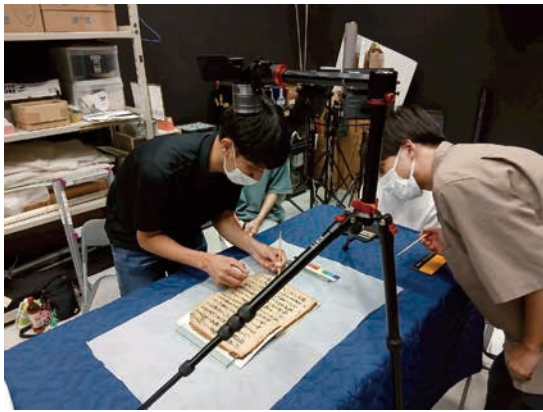
Pick up!

社会文化学科の教員が中心となって書かれた書籍です。琉球・沖縄の通史が分かりやすく解説されています。



『大学で学ぶ沖縄の歴史』2023年 吉川弘文館

歴史学〔前近代史〕



歴史学〔前近代史〕ゼミでは、琉球国が成立していた時期の国家や社会の状況を文字によって記された文献史料に基づいて検討します。身近な地域の歴史を考える意味学び、先行研究と関連史料を丹念に読み込み、4年次では個々が「ゆずれないテーマ」を設定して卒業論文にまとめます。

歴史学〔近現代史〕



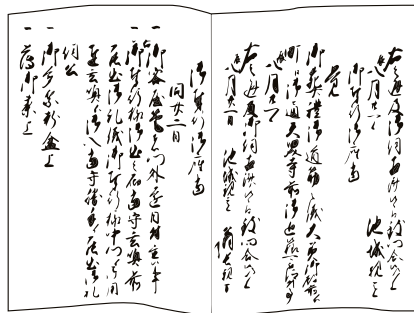
歴史学〔近現代〕ゼミでは、過去の事実を知る、文献や論文を探す、歴史資料を探す、歴史資料を読むことを、実技を交えながら学びます。3年次の夏休みの「実習」では、戦後の歴史資料の調査をおこないます。必要に応じ博物館や関連する史跡を訪れたりしています。

こんな授業があります



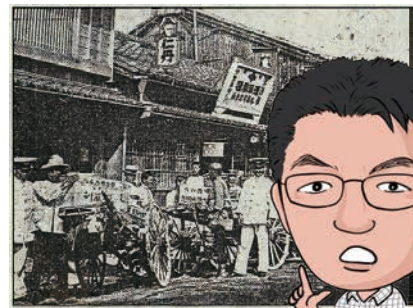
●歴史学概論

人類は自分が生きている時代より前の時代の出来事を、なぜ、どのように知り、その出来事を、どのように利用したのでしょうか？「歴史学の歴史」を通して、歴史と個人と社会の関わりを学びます。



●古文書講読

琉球王国の尚家文書を題材に、毛筆で書かれたくずし字を判読・翻刻する講義です。候文（和様漢文）で書かれた史料が読解できるようになることが、オリジナルな卒業論文への第一歩です。



●日本史概論

近代・現代を中心に、軍隊、警察、教育、選挙などのテーマに沿って、過去の史料に基づいた歴史の講義を行っています。現在のみなさんの生活に意外と身近なトピックがきっと見つかります。

社会文化学科を選んだ先輩の声



歴史学（近現代史）ゼミの様子です。2025年の実習では宜野湾市立博物館で、「旧宜野湾村文書」の資料調査をおこないました。

卒業後の進路やメッセージ



私は高校生の頃から沖縄でお笑い芸人として活動しています。沖縄で活動していく上で、「沖縄のことをもっと知る」「沖縄のことを世界へ発信する」ことを心掛けています。社会文化学科は様々な視点から沖縄を研究できるので、地元への思いが強い人、沖縄について関心がある人は社会文化学科で学ぶと新たな道が見つかるかもしれません。

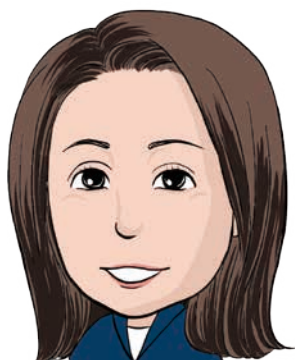
山城みなと 2018年度卒業 那覇高校出身 芸人（FECオフィス）



沖縄をとりまくアジア・世界の文化や社会を対象にします。
比較文化という観点を踏まえながら学んでいきます。
地域をたずね人々の暮らしを記録し、フィールドに出かけ人々と関わりながら考えます。

民俗学 人類学

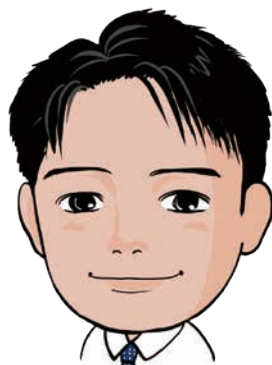
教員紹介



阿利 よし乃 ARI Yoshino

- 民俗学、沖縄地域研究
- 沖縄文化入門、民俗学概論、F S、南島民俗学史Ⅰ、南島民俗学Ⅱ、ゼミ

民俗学の研究対象は田畑での農作業や夏に行われる綱引き、エイサーなどの年中行事、妖怪や幽霊といった不思議な存在など、とても幅広いです。フィールドワークで地域に分け入り人びとと関わり合うことで、人間の暮らしをめぐる日常や生活文化を捉えることができます。講義やゼミではその方法や考え方を学びます。



石垣 直 ISHIGAKI Naoki

- 文化人類学、台湾地域研究、沖縄地域研究
- 沖縄文化入門、文化人類学概論、アジア文化論、ゼミ

石垣島出身の私は、県外・海外での学びを通じて「文化人類学」という学問に出会いました。この学問分野は、人類社会・文化の多様性と共通性を探究する学問ですが、郷土の文化を世界的な視野から検討する際にも大いに役立ちます。ぜひ、世界・アジア的な視野で沖縄を考える姿勢を身につけてもらえればと思います。



田村 卓也 TAMURA Takuya

- 生態人類学、文化人類学、地域研究（沖縄、アフリカ）
- F S、外国語資料購読演習、文化人類学、環境科学、

沖縄とアフリカにおいて、人々がどのように自然を利用しながら生活を営んでいるかについて研究しています。授業としては、文化人類学や環境に関係する科目をおもに担当しています。学生のみならずには沖縄のことだけでなく、さまざまな土地で生きる人々のくらしや文化を知ること、ひろい視野から物事を考える習慣を身につけてほしいと思います。

Pick up!

沖縄県の民俗を幅広く取り上げた書籍です。阿利先生が八重山諸島の村落祭祀について解説しています。



『沖縄県史 各論編 9 民俗』2020年
沖縄県教育庁文化財課史料編集班

Pick up!

田村先生が生態人類学の視点から、アフリカのケニアの漁業者の資源利用について書かれた書籍です。



『かご漁の社会生態誌：ケニアの海を生きる小規模漁業者たちの資源利用』2025年 明石書店

ゼミ紹介

人類学ゼミ



人類学ゼミでは、県内はもとより海外でも研修や調査実習を実施してきました。世界・アジア的な視座で沖縄を考えたいという熱意をもつ学生との出会いを楽しみにしています。

民俗学ゼミ



民俗学ゼミでは、3年次の夏休みに「実習」を行います。実習では沖縄県内の一村落を調査地とし、合宿によるグループでのフィールドワークを実施しています。聞き書きや祭りの観察、民俗地図の作成といった調査の基本を実践的に学びます。みなさんも民俗学の魅力を体感してみませんか？

こんな授業があります



●民俗学概論

民俗学における基本的なものの見方や考え方を学びます。稲作と畑作、交際と贈答、盆と正月などのテーマを設けて日本各地や沖縄の民俗事例を紹介します。長い時間をかけて人から人へ伝えられてきた暮らしの移り変わりの歴史を民俗学という学問から考えていきます。



●環境科学Ⅰ

森や海辺、草原、都市など、人類が居住している環境は多様性に富んでいます。授業では生態人類学を土台として、さまざまな環境に住む人々が、どのように身近な自然とかかわりを持ちながら生活を営んできたのかを学びます。



●アジア文化論

「沖縄はアジアの十字路口」という言い方があります。しかし、私たちはどれほど「アジア」を理解しているのでしょうか。講義では、東アジア・東南アジア・オセアニアの社会・文化に関する基礎的な学びを通じて、広い視野から沖縄を理解するための視座を提供します。

社会文化学科を選んだ先輩の声

Check!



座間味可奈代 (民俗学ゼミ)

学生インタビュー
動画視聴しよう

卒業後の進路やメッセージ



私は「沖縄の文化や歴史を学び継承したい」という思いで社会文化学科を選びました。講義では沖縄を幅広い分野から学び、そして興味のある分野を追求する事ができます。

私のように「沖縄が好き」という方にはとてもびったりな学科だと思います。みなさんが充実した4年間を過ごせる選択ができますように。

吉原玖美子 2019年度卒業 普天間高校出身
マスコミ (琉球新報社)

社会学 平和学



今日の沖縄社会が直面する様々な現代的課題を理解します。
また、その背景にある構造的な問題について学術的に思考します。
身近な問題と結びつけて「平和」を捉える思考力を養います。

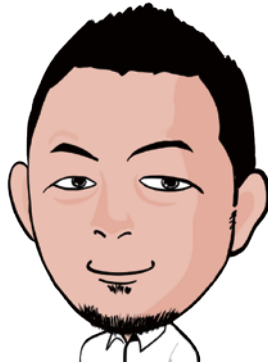
教員紹介



崎濱 佳代 SAKIHAMA Kayo

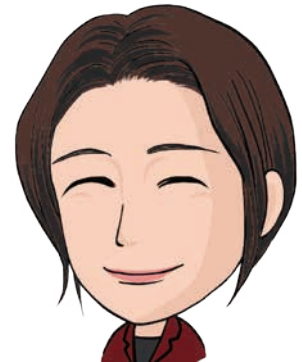
- 国際社会学、移民研究、社会的排除、ソーシャル・キャピタル
- ゼミ、沖縄社会入門、社会調査の基礎

「社会学」は、ありとあらゆる社会現象を研究対象とします。どんな組織や仕組みが存在するのか（社会構造）、それらが時代の流れと人々の意識や行動によってどのように変わっていくのか（社会変容）。大事なのは、社会の仕組みと個人の生活がどんな影響を及ぼしあっているのかということ。皆さん自身と社会の関係を見つめなおすヒントを提供したいと思っています。



秋山 道宏 AKIYAMA Michihiro

- 社会学、沖縄戦後史、平和研究
 - 社会学理論、平和学概論、ゼミ
- 平和学や社会学関連の授業と平和学ゼミ（演習Ⅰ・Ⅱ）を担当しています。研究活動では、戦後沖縄の地域や住民の視点から、沖縄戦体験がどのように継承されてきたのか、人々は軍事基地（米軍や自衛隊の）とどう向き合ってきたのか、といったテーマを探求しています。また、地元である南風原町では、平和ガイドの活動も行なっています。平和や戦争が鋭く問われる場所である沖縄で、好奇心をもち、動き、考え続ける学生を歓迎します。



月野 楓子 TSUKINO Fuko

- 移民研究、国際文化学、ラテンアメリカ地域研究
- FS、スペイン語、沖縄社会入門、国際理解課題研究ほか

沖縄から海外へ移民した人々の研究をしています。移民は過去の出来事と思われがちですが、世界には沖縄にルーツを持つたくさんの方がいて現在も沖縄への関心を持ち続けています。故郷から離れた人々の歴史や社会、文化を学びながら、人は何をよりどころに生きるのかについて考えています。

Pick up!

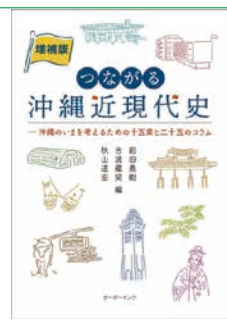
崎濱先生も寄稿した書籍です。多文化共生社会に向けての話題を、9人の先生が執筆しています。



『ボーダレス・ダイバーシティ社会に向けて』
2021年 編集工房東洋企画

Pick up!

秋山先生も編集に参加して書かれた書籍です。沖縄のいまに繋がる話題がわかりやすく解説されています。



『増補版 つながる沖縄近現代史』
2025年 ボーダーインク

ゼミ紹介

社会学ゼミ



社会学ゼミは、多様な研究テーマをもつ学生たちが集います。貧困、教育、ジェンダー、セクシュアリティ、移民、メディア、文化（サブカルチャー）など、それぞれの興味関心を追究します。自分の抱えるモヤモヤを言語化して論じることや、フィールドでの出会いを経験して各々の成長のお手伝いをします。

平和学ゼミ



現在、沖縄は平和でしょうか？ 平和とは、どのような状態でしょうか。平和学ゼミでは、この素朴ですが、根本的な「問い」について、沖縄戦や身近に存在する軍事基地の歴史、沖縄・日本・東アジアの戦後史などを学び、理解を深めることを通して考えていきます。

こんな授業があります



●社会調査法Ⅰ・Ⅱ

社会を理解するために人間の行動に関するデータ（情報）を収集し、データを分析して記述・説明、その結果を公表する一連の過程を学びます。新聞社や放送局、行政や企業、教育や NGO / NPO の調査部門で必要とされる社会調査士資格の認定科目になります。



●沖縄戦の教訓はいかに生まれたのか



体験講座を
動画視聴しよう

Check!



●フレッシュマンセミナー

大学で学ぶための基本的なスキルを身につける1年次の必修ゼミです。教室の外に出てフィールドワークを体験することもあります。

社会文化学科を選んだ先輩の声

卒業後の進路やメッセージ



学生インタビュー
動画視聴しよう

小濱祐（平和学ゼミ）



宇良梨々花 2022年度卒業 宜野湾高校出身 金融（琉球銀行）

私は社会分野の勉強が得意という理由で社会文化学科に入学しました。卒業後の進路は全く決まっていませんでしたが、沖縄について深く学ぶうちに、沖縄に貢献できる仕事がしたいと思い、地域社会の発展を経営理念の一つとしている琉球銀行に就職を決めました。沖縄が好きな方や沖縄について学びたい方にお勧めできる学科だと思います。

卒業後の進路・就職先

社会文化学科の卒業生は、沖縄県内外の様々な業界で活躍しています。教員や学芸員等の専門職だけでなく、大学で培った問題解決能力とコミュニケーション能力は一般企業の現場でも生かされています。また、社会文化学科では所定の科目を履修することで在学中に様々な資格を取得することができます。以下は、代表的な卒業後の進路4選です。卒業後の進路はもちろんこれ以外にも多種多様です。

教員（高校地歴 / 公民・中学社会）

現在、名護市の学校で教員として働いています。高校の先生から沖国は教職に強いと聞いて社会文化学科を志望しました。大学4年間は授業はもちろんですが、先輩後輩、同じ志の仲間と出会い、充実した学生生活を送ることができました。教員養成のサポートや様々なプログラムがあるので、地歴公民の教職を目指すなら社会文化学科がお勧めです。

（赤嶺来祈さん【2024年卒業】）

公務員・博物館学芸員

沖縄の歴史が好きで、面白そうだと社会文化学科に入学しました。実際に専門的な知識を深め文書が読めるようになると、どんどん楽しくなって、大学院に進学後、現在は専門性を活かして沖縄県立博物館・美術館で働いています。学生生活では、歴史学を通して沖縄の文化や県外の人々との繋がりについて学ぶことができとても楽しかったです。

（大城直也さん【2018年卒業】）

マスコミ・印刷出版業

「沖縄のことを知りたい！」その思いから社会文化学科に入学しました。在学時は桜美林大学への国内留学、サークル、語学留学などさまざまなことを経験しました。社会文化学科は沖縄をさまざまな学問から学ぶことができます。授業やゼミを通して多くの人と出会い、地域社会や文化を知りました。卒業後は琉球新報社に入社し、記者生活を送っています。

（吉原玖美子さん【2019年卒業】）

観光業・小売・サービス業

私は社会分野の勉強が得意という理由で社会文化学科に入学しました。卒業後の進路は全く決まっていませんでしたが、沖縄について深く学ぶうちに、沖縄に貢献できる仕事がしたいと思い、地域社会の発展を経営理念の一つとしている琉球銀行に就職を決めました。沖縄が好きの方や沖縄について学びたい方にお勧めできる学科だと思います。

（宇良梨々花さん【2022年卒業】）

『大学案内』はここをチェック！！



アドミッション・ポリシー

「アドミッション・ポリシー」は、各大学、学科が受験生に求める能力や資質を示したものです。本パンフレットや、『大学案内』『入試要項』に繰り返し記載されているのは、大切な事柄が記載されているからです。

しっかりと、記載された内容の「人物」であることを面接では説明を求められ、レポートではその関心や能力を有しているかが評価ポイントとなります。

試験制度と日程

本学で用意される試験は、多種多様な入学者選抜試験制度が設けられています。また、どの入試を経ても、入学後の区別は一切ありません。さらに、1回分の受験料ですべての入試が受験可能です。最新情報は、『入学者選抜試験要項』や大学のHPで確認してください！

Check!



沖国大のHPをチェックしよう！

在学生座談会

社会文化学科の現役在学生に、受験の準備や現在の大学生活について聞いてみました。



学科選びの決めては？

私は沖縄の歴史や文化についての知識を深めながら、最終的に教員免許を取得しなかった為、社会文化学科を選びました。社会文化学科では、沖縄について古代から現代までを、多方面から学ぶことができます。また、私と同じように教員を目指している学生も多いので、共に切磋琢磨しながら頑張り合えると思います！(^)



2025 年度入学 高橋菜々子 (首里高校出身)

キャンパスライフについて教えて

最初は不安だったのですが、新入生オリエンテーションや MT を通して友達との仲も深まりました。課題が 1 番大変ですが、図書館やカフェテリアなどを利用し、計画を立てて取り組んでいます。友達との時間も大切に、大学生活で目標に向かって頑張る仲間と日々切磋琢磨しながら過ごしています！



2025 年度入学 佐喜眞美茄 (知念高校出身)

面接では実際に何を聞かれるの？

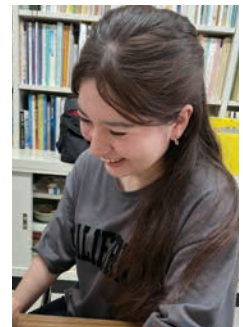
面接では、主に志望理由や高校在学時に頑張ったことなどの経験、レポート課題について聞かれました。面接で緊張もすると思いますが、面接官の方も優しい為、自身の思いや考えをしっかりと伝えることができれば大丈夫です！

皆さんが面接を上手くできることを応援しています。

受験生へのメッセージ

社会文化学科では、沖縄の幅広い歴史だけでなく、現代の沖縄の課題について学ぶことができ、フィールドワークも充実しています。沖縄のことについて深く学びたい、沖縄の現代課題の解決策を考えてみたいという方にお勧めの学科です！ぜひ一緒に沖縄の魅力を発信していきませんか？

2025 年度入学 謝敷ソフィア
(宜野湾高校出身)



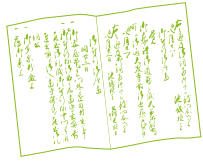
受験の備え

フィールドワーク課題

総合型選抜 (A・B) では、フィールドワークに基づくレポート課題を提出してもらうことになっています。これは、学科のアドミッション・ポリシー (AP) に基づいて、みなさんの思考力・判断力・表現力を確認するためのものです。ぜひ、みなさんが一番興味のあるテーマを探してください。教科書に載っているような大きな問いを立てるのではなく、みなさんの身近にある疑問点から出発することをお勧めします。そして、レポートは詳しく調べるだけでなく、自分で設定した「問い」に対して、フィールドワークを通して得られた「結論」を自分の言葉 (文章) で述べるのが大切です。

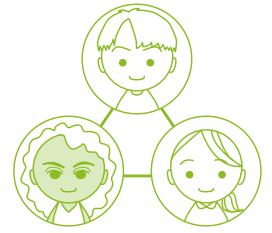
自己紹介書

受験にあたり準備する書類に、自己紹介書では、これまでの取り組みはもちろんですが、自身の入学後の学習目標、目標達成のための計画、卒業の進路を紹介することも大切です。本パンフレットやカリキュラム紹介、学科の HP を参考に、学年ごとの目標を設定し、具体的な講義や学科の学びを確認しながら計画を立てると、説得力のある内容になります。



歴史学

社会学



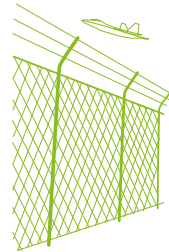
考古・
先史学



民俗学



人類学



平和学

沖縄国際大学 総合文化学部 社会文化学科 学科紹介パンフレット

編集：沖縄国際大学社会文化学科広報ボランティア

【4年次】加藤龍樹（考古学ゼミ）・仲村歩乃花（歴史学ゼミ）・西季心（考古学ゼミ）・
鉢嶺元子（社会学ゼミ）

【3年次】安室麻衣（人類学ゼミ）・宮平琴々奈（民俗学ゼミ）・富原空（人類学ゼミ）

【2年次】高橋菜々子（歴史ゼミ）・佐喜真美加（歴史ゼミ）・謝敷ソフィア（社会平和ゼミ）
神谷楓（民俗人類ゼミ）・石原杏奈（民俗人類ゼミ）・佐々木愛未（社会平和ゼミ）

製作・発行：沖縄国際大学 総合文化学部 社会文化学科

住所：〒901-2701

沖縄県宜野湾市宜野湾 2-6-1 沖縄国際大学

電話：098 (892) 1111 (代表)

発行日：2026年5月29日

印刷・製本：沖縄高速印刷株式会社

※本学科紹介パンフレットは、在学生の広報ボランティアと教員が制作しました。実際の制作にあたっては、イラストの作成などで安座間奈緒先生（学芸員資格担当教員）に協力いただきました。取材に協力いただきました先生方並びに在学生OB・OGの皆様にお礼申し上げます。